

## マスターズ甲子園2019実行委員会（第3回）

日 時： 2019年10月13日（日）16:00～18:00

場 所： 神戸大学国際人間科学部鶴甲第2キャンパス 中会議室 B

出席者： 樽谷、高橋、戒能、前崎、宝槻、高山、小川、北野、高田、小林、小菌、浪花、彦次、谷、  
菌田、長ヶ原

欠席者： 多湖、岡田、杉山

事務局： 松村、青山、松崎、乾、山下、三浦、出戸

議 題：

- 1) 2018年度全国高校野球OBクラブ連合・マスターズ甲子園2018実行委員会事業報告  
資料1-1：全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧  
資料1-2：マスターズ甲子園2018本大会プログラム  
資料1-3：全国高校野球OBクラブ連合2018年度決算・監査報告  
資料1-4：マスターズ甲子園実行委員会2018年度決算・監査報告
- 2) 2019年度全国高校野球OBクラブ連合・マスターズ甲子園2019実行委員会事業報告  
資料2-1：全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧  
資料2-2：マスターズ甲子園2019本大会プログラム  
資料2-3：全国高校野球OBクラブ連合2019年度途中決算報告  
資料2-4：マスターズ甲子園実行委員会2019年度途中決算報告
- 3) マスターズ甲子園2020-2022シリーズ  
資料3-1：2020-2022シリーズ・申請枠募集結果  
資料3-2：2020-2022シリーズ・申請枠抽選方法について
- 4) 2020年度全国高校野球OBクラブ連合事業案  
資料4-1：マスターズ甲子園2020本大会プログラム案  
資料4-2：全国高校野球OBクラブ連合2020年度予算案  
資料4-3：マスターズ甲子園実行委員会2020年度予算案
- 5) マスターズ甲子園2020-2022シリーズ計画について  
資料5-1：マスターズ甲子園2020-2022シリーズ
- 6) 2019年甲子園本大会の諸準備について

## 議事録

16:10より長ヶ原実行委員長（以下、委員長と称す）のあいさつにより開会。委員長より実行委員会の趣旨および議題について説明が行われた。

### 議題1) 2018年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告

委員長より、資料1-1、1-2、1-3、1-4に基づき、2018年度全国高校野球OBクラブ連合ならびにマスターズ甲子園2018実行委員会の事業報告について説明が行われた。

### 議題2) 2019年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告

#### ●全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧（資料2-1）

委員長より、2019年度全国高校野球OBクラブ連合加盟状況について、配布資料を基に議論を進める旨が説明された。戒能副会長、前崎実行委員、宝槻実行委員、高山実行委員、小川実行委員、北野実行委員より、各ブロックの加盟状況と各リーグ動向についての説明がなされ、新規加盟リーグとして秋田、香川の2県が新規リーグとして立ち上がったことが報告された。

#### ●マスターズ甲子園2019本大会プログラム（資料2-2）

委員長より、配布資料に基づいたマスターズ甲子園2019本大会のプログラム案について説明が行われた。委員長より10月12日に宮崎県代表として、都城商OBが決定し本大会の代表16校がすべて確定したこと、会議当日現在で、甲子園キャッチボール数が1日目280ペア、2日目140ペア、両日合わせて420ペアが参加予定であること、大会ボランティア総数が904人である旨が説明された。

#### ●マスターズ甲子園実行委員会2019年度途中決算報告（資料2-4）

委員長より、配布資料に基づき、マスターズ甲子園2019実行委員会の途中決算報告がなされた。委員長より、修正予算からの変更点として、収入の部では、甲子園キャッチボール参加料の増加、支出の部では、甲子園球場会場費、大会運営費が増加した旨が報告された。

### 議題3) マスターズ甲子園2020-2022シリーズ（資料3-1、3-2）

委員長より、資料3-1、3-2に基づき、次期シリーズ申請枠申請の申請結果と抽選方法について説明が行われた。

### 議題4) 2020年度全国高校野球OBクラブ連合事業案

#### ●マスターズ甲子園2020本大会プログラム案（資料4-1）

委員長より、資料4-1に基づき、2020年度の本大会プログラム案、予算案について説明が行われた。前崎実行委員、浪花実行委員より本大会プログラム案に関してタイムスケジュールについての指摘があり、次回の実行委員会までに事務局にて協議することが確認された。

#### ●全国高校野球OBクラブ連合2020年度予算案（資料4-2）

#### ●マスターズ甲子園実行委員会2020年度予算案（資料4-3）

委員長より、資料4-2、4-3に基づき、全国高校野球OBクラブ連合・マスターズ甲子園実行委員会の2020年度の両予算案の説明が行われた。全国高校野球OBクラブ連合予算案について、収入

の部では加盟校数増加に伴う年会費の増加、支出の部では加盟校に対する郵送費や諸印刷費の増加が報告された。マスターズ甲子園実行委員会予算案について、収入の部では、代表 OB 試合 1 日 5 試合による出場校増加、に伴う試合参加料の増加、支出の部では、甲子園球場使用時間の延長に伴う甲子園球場会場費の増加、大会運営費の増加が報告された。高田副実行委員長より、両予算に人件費が入っていないこと、主催団体事務局として専門スタッフを雇う必要があるとの提案があった。戒能副会長、高山実行委員より、今後の理事会で検討していく旨、具体的に年会費の増加も検討していく場合は加盟校への説明に時間をかけてしっかりと行っていく必要があるとの提案があった。委員長より、2020年度予算案に関しては全会一致で承認され、2020年以降の予算については、今後の実行委員会で引き続き検討していくことが確認され、全会一致で承認された。

#### **議題5) マスターズ甲子園2020-2022シリーズ計画について(資料5-1)**

委員長より、資料5-1に基づき、2020-2022シリーズ計画について説明がされ、2022年のブロック枠について、申請方法については理事会で今後検討すること、各ブロック大会の開催時期については本計画のスケジュールにそってブロックごとに検討する旨が報告された。

#### **議題6) 2019年甲子園本大会の諸準備について**

委員長より、配布資料に基づき、2019年甲子園本大会の諸準備について説明が行われた。具体的には、メディアレギュレーションと大会関係者への諸注意、PL 学園 OB チームと応援団体聖友会の当日の動きについて説明が行われた。委員長より、今大会はメディアからの問い合わせが多く混雑が予想されるため、撮影ルールの再確認を実施し、メディアレギュレーションのリニューアルを実施した。さらに、球場内部に入ることができる大会関係者の ID パス申請方法や撮影についてのルールなどを明記した来場の際の諸注意を事前に大会関係者に周知する旨が報告された。

委員長より、10月より開始しているクラウドファンディングについて途中報告が行われた。委員長より委員会実施日時時点で達成率が低いことから、本年度の達成は難しいことが報告された。小菌実行委員より、今回のクラウドファンディングの実施を通しての課題等をまとめて、今後の実行委員会で検討できるように準備を行うことが報告された。

以上をもって議案の審議が終了し、委員長により18:05に散会。